



議会
だより

2025
No.212
令和7年7月10日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087)892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)

な お し ま



「直島新美術館」オープン
蔡國強 作『ヘッド・オン』

町の更なる発展のために(議会新体制)..... 2P

夏休み中の交通安全対策を等
(一般質問)..... 3P

直島新美術館オープン
(町長・教育長報告).... 4・5P

生活応援クーポン券配布(委員会報告)..... 6P

四国汽船との意見交換会..... 7P

がんばりよるで..... 8P

町の更なる発展のために

5月8日臨時会を開催、正副議長の選出をはじめ、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会などの議会構成を行ないました。

議長に井下氏再任

本臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、再度議長を拝命いたしました。誠に光栄でありますと同時に、町の将来展望を考える非常に重要な時の就任、重く受け止めております。

町と議会、真の車の両輪として、お互い真摯に向き合い意見を出し、物事を解決していく所存です。皆さまのご協力ご指導をよろしくお願いいたします。

新副議長に山上氏



山上 英一 氏

安全・安心で

夢と希望の持てる

まちづくりを

5月臨時会において、多くの議員のご推挙により、副議長に就任することになりました。

もとより微力ではありますが、町議会に課せられた責務の重大さを痛感し、井下議長を補佐し円滑な議会運営に努めます。

今後の更なる直島町の発展のためにがんばりますので皆さまのご協力をお願い申し上げます。

議会構成

常任委員会

◆総務・文教

委員長 中根 清孝
副委員長 宮原 三郎
委員 西岡裕喜広
小野 孝一
井下 良雄

◆経済・民生

委員長 山下 玲子
副委員長 浜口 敏夫
委員 松島 俊雄
山上 英一

特別委員会

◆広報編集

委員長 井下 良雄
副委員長 山上 英一
委員 山下 玲子
小野 孝一
西岡裕喜広
中根 清孝
浜口 敏夫

議会運営委員会

委員長 西岡裕喜広
副委員長 小野 孝一
委員 山下 玲子
中根 清孝
宮原 三郎
浜口 敏夫
山上 英一

議会選出監査

委員 浜口 敏夫

玉野市・直島町 連絡協議会

理事 井下 良雄
委員 山上 英一
他議員全員

香川県後期高齢者医療 広域連合議会

議員 井下 良雄

5月8日開催の臨時議会において、専決処分2件、一般会計補正予算及び条例制定2件を承認、可決しました。

○一般会計補正予算

●歳入
●総務費国庫補助金
1269万円追加

●歳出

●企画費委託料
●地方公共団体情報システム標準化事業
3095万円追加

議会閉会中の 継続調査案件

◎総務・文教常任委員会
①財務その他行政一般及び教育行政に関する事務
②議会改革の検討
③行財政改革の検討
④観光対策
⑤行政、教育のデジタル化の検討

◎経済・民生常任委員会

①産業、土木及び水道並びに保健衛生、社会福祉に関する事務
②人口増加・住宅対策
③環境美化対策



松島 議員



西岡 議員

6月定例会を5日から開催しました。

報告を2件受けたあと、議案2件を審議し、原案どおり可決しました。

一般質問には2人が登壇し、町政を問いました。

町道「流し中奥線」は本来農道だ。今般、旅館「ろ霞」の開業によって一般道の存在となった。沿線の住宅・野菜作りの人たちにとって大きな迷惑となっている。少なくとも小型車輛の交差可能な幅員が必要だ。通行の安全確保のため

夏休み中の安全対策を

〔教育長〕計画的・効果的に指導

7月21日から、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まる。一方で夏休み期間中の子どもたちに関連する事故が、年々増加傾向にある。また、自転車同士の出合い頭による事故が42%と多くなっている。

の休みから、開放的な気持ちのゆるみで、注意不足になっていると考えられる。子どもたちを守る何らかの対策が必要だ。今年は瀬戸芸で、多くの車両や自転車走っており、子どもたちが巻き込まれる可能性を危惧する。子どもたちにグレードアップした交通安全教室を実施できないか。

本村町道の改良を

〔町長〕道路状況から考慮

にも、水路に蓋を施し拡幅する等、現状の改善は必須だ。起因の関係者には積極的な協力をいただき、実施することを期待する。

路は一部を除き車輛のすれ違いは困難だ。安全性を考えると水路に溝蓋を設置することは効果的だとは思いますが、現場の状態は実施に困難を伴う状況だ。このことから相当の期間と工事費が見込まれる。財政を考えるとすぐに取りかかるのは無理と考える。

A (町長) 指摘のとおり、令和4年には「ろ霞」が開業してからは車輛の通行量は増加している。ちなみに当該道

また兵庫県では、全国初の損害賠償保険を義務付ける条例を施行し、保険を全額補助している。香川県も義務化されているが、ヘルメット購入の補助金のみで、自転車保険の補助金がないのが現状だ。自転車保険の補助金を検討してはどうか。

A

(教育長) 東京、大阪など大都市においては、夏休み中に友だちと自転車に乗って普段行かない場所に遊びに行ったり、慣れない道路

町内には同様の水路、排水路があり各自治会からも改善要望が出ている。利用者への安全確保のためには重要な課題であり、改善しなければならぬと思うが、限りある財源の中、全てを早期に改善するのは困難。調査結果により優先度の高い所から実施する。当該道路については他の状況を検討しながら考えていく。

Q

もう少し前向きな答えを期待して



町道「流し中奥線」

いたが、若干残念な思いだ。即対応は困難との結論だが、小型車輛の通行がやっとなという部分に対してできるだけ早く危険

を通ることが増え、交通事故が増加している。当町においては、児童生徒の交通事故の危険性が高まるという可能性は低いと考えられる。小中学校では、学校安全計画を策定し、1年間を通して計画的・効果的に指導をしている。



事故のない夏休みに

度の減少に進んでもらう等、部分的に対応することを検討していただきたいと思うが。

A

(町長) 「ろ霞」

ができて交通量が増えたからやるのではなく、総合的に考えて対処する。

(松島) 残念な答えだ。受益者は起因者。積極的な協力を求めることが財政問題解決の対応策の一つと考える。

直島新美術館 オープン

オープン当日
1000人の来場者



小林町長

(主なもの)

- 3月12日 掃海艇「なおしま」自衛艦旗返納行事が広島県呉市の係船堀地区で執り行なわれ、出席しました。
- 3月18日 NPO法人直島町観光協会理事会に出席しました。
- 3月28日 まちづくり協議会（仮称）設立に係る意見交換会を、役場会議室で開催され、出席しました。
- 3月28日 固定資産評価審査委員会が役場会議室で開催され、出席しました。
- 4月24日 「こども図書館ほんのもり号」の就船記念式典が高松港で執り行なわれ、出席しました。
- 5月1日 パラオ共和国訪問団との交流会が総合福祉センターで開催され、出席しました。
- 5月15日 総務省四国行政評価支局による中川前行政相談委員への総務大臣感謝状贈呈式が役場会議室で執り行なわれ、出席しました。
- 5月23日 商工会通常総会が商工会館で開催され、出席しました。
- 5月26日 香川県市町長会議がマリンパレスさぬきで開催され、出席しました。
- 5月31日 直島新美術館テープカットが執り行なわれ、出席しました。

主な質疑

現在のエリアマップには飲食店の記載がない

Q (西岡) エリアマップに飲食店の記載がないため、観光客が困っている。以前のよう

に載っていないのは、どういった経緯なのか。

A (まち観課長) 現在のエリアマップ

は、芸術祭期間限定版として配っているものだ。

グルメガイドとして、

今、店舗を整理後に発刊するとともに、観光協会のホームページからデジタルブックという形で見られるようになっていく。

Q (西岡) ネットから見られるが、冊子としても発行するのか。

A (まち観課長) 紙媒体とデジタルブック両方で発行する予定だ。

まちづくり協議会の目的は何か

Q (浜口) まちづくり協議会設立の目的や、メンバーの説明を

してもらいたい。

A (町長) まちづくり協議会、仮称だが、これは複合施設を建

てるために、国の第2世代交付金を活用しようと考えており、表明できないと交付金の決定ができな

いと考えていることだ。

どういった経緯でイベントが開催されたのか

Q (中根) パラオ共和国との交流だが、どのような経緯でイ

ベントが開催されたのか。

A (町長) 関西万博のナショナルデーに

参加した流れで直島に来られた。

直島では中学生と交流

したいということで、福祉センター劇場ホールでパフォーマンスをしていただいた。



直島新美術館テープカット

年に何回来るのか

Q (西岡) こども図書館ほんのもり号

だが、年に何回来るのか。

A (教育長) まだ回数

は決まっていないが、6月10日に宮浦港に入港して、幼児学園の子どもと、小学校の5・6年生が乗船し、商工会2階で本棚を作ったり、絵本を読んだりしていく活動をする。

秋にも来る予定になっている。



ほんのもり号



津山教育長

他と比べ
遅れていない

部活動 県内の状況は

(主なもの)

- 4月21日 文化協会総会に出席しました。
- 4月21日 中学生・高校生海外派遣事業に参加希望者の書類審査と面接を実施しました。
- 4月23日 学校外活動指導者連絡会に出席しました。
- 5月1日 市町教育委員会・県町教育長会合同研修会に出席しました。
- 5月1日 パラオ共和国訪問団と中学生の交流会に参加しました。
- 5月15日 中学生・高校生海外研修事前説明会に出席しました。
- 5月23日 全国高等学校総合文化祭県実行委員会に出席しました。
- 5月29日 部活動地域展開推進協議会に出席しました。
- 5月30日 県教育委員会事務局生涯学習・文化財課職員に、本町の社会教育の現状を報告しました。
- 5月31日 幼小中合同運動会・町民体育祭に参加しました。

主な質疑

応募はあるか

Q (浜口) 地域おこし協力隊の採用状況は。

A (教育長) 応募があればすぐに面接を行ない、決定したい。

Q パラオ共和国との交流は

Q (浜口) 今後、中学生との交流を進めていくのか。

A (教育長) 研究指定校で東南アジア

の国々とインターネット交流を行なう予定だ。その結果をみて、成功すればパラオ共和国にもう一度相談する方向だ。

研修会の内容

Q (西岡) 市町教育委員会連絡協議会及び町教育長

合同研修会の内容は。



迫力のあるパフォーマンス

A (教育長) 「ウェルビーイングと学

校」という演題で講演を拝聴した。

日本語に訳せば幸せ感ということ、学校教育で今、さまざまな課題があるが、教育として重要なことは、子どもの魂に火をつけ志を立て、生きる充実感をつくる教育が必要だという話を伺った。

社会教育の現状とは

Q (松島) 本町の社会教育の現状を県に説明とあるが、その内容は。

A (教育長) 本町の社会教育のさまざまな取り組みを、網羅的に説明した。

Q (松島) 実施項目を具体的に。

A (教育長) シルバーカルチャー教室、文化講座、文化協会活動、体育協会活動、子ども会活動だ。

県内の状況は

Q (中根) 「部活動地域展開推進協議会」で県内の状況は。

A (教育長) 8市1町から進捗状況の報告があった。

大きな自治体はこれから体制づくりをする段階かと思う。

本町の地域展開はすでに実施中だが柔道部・剣道部・美術部は休日練習をしていない。

本年度から卓球部も行なわない。夏以降は在籍がゼロになるので、平日もなくなる。

課題として残っているのはバドミントン部・テニス部・音楽部だ。他の市町と比べて、決して遅れている状況ではない。



すでに地域展開中

委員会レポート

経済・民生

山下 委員長

医師が交代 内科医2人に

前任に替わり、4月1日付で大川医師、西山医師が着任された。

医師が交代

〔診療所〕
診療状況(6年度実績)
一般入院 302人
(前年比 67人増)
シヨートステイ 65人
(前年比 82人減)
外来患者数 1万1806人
(前年比 654人減)
時間外救急患者数 290人
(前年比 97人減)

総務・文教

中根 委員長

生活応援クーポン券 7月19日利用開始

新規採用職員

〔総務課〕
医師 2人交代
職員 2人採用
会計年度 2人採用
(中根) 新しい医師2人の専門は何か。
(課長) 2人とも、専門は内科だ。

〔教育委員会〕

中学生・高校生海外研修事業
日時 8月2日～11日
参加者 中学生 2人
高校生 1人



昨年の海外研修

中学生・高校生海外研修報告会

日時 8月21日
場所 役場大会議室
(井下) 研究指定南アジアの国々とオンライン交流ということだが、

〔住民福祉課〕

総合福祉センター
利用状況(6年度実績)
プール 2175人
トレーニング 597人
(建設経済課)

稚魚放流

5月12日
直島つり公園において
黒メバル3000匹を放流した。

町営住宅の空き状況

Q (山上) 現在の空き状況は。



大きく育ってね

A 家族住宅が1戸、募集をかけている。単身者用のマリンパールは2戸空いており、募集をかける。

町営住宅も2戸空いており、6月から募集する。

何力国と交流するのか。
(教育長) 現在調整中で、ハローワールド社が指定業者となっている。研究指定校の指定期間は1年間だ。

〔まちづくり観光課〕

ふるさと納税

6年度 692件
5291万7千円

スマホフレット使い方講座&eSports体験教室

3月29日
参加者 子ども 45人
高齢者 16人

香大地域活性化プロジェクト
8人

瀬戸芸開募前クリーン活動

4月5日
自治会・企業などから約300人が参加

生活応援クーポン券

5月下旬利用店舗募集
6月中旬各世帯に配布
7月19日より利用開始
利用期限は9月末を予定している。

Q (中根) ふるさと納税の返礼品だが、何か新しい物はでき



町営住宅マリンパール

鳥獣捕獲数(6年度実績)

カワウ 39羽
タヌキ 28匹
カラス 13羽

イノシシ 67頭
ヌートリア 10匹

〔環境水道課〕

狂犬病ワクチン接種

4月11日
町内4カ所で開催
接種頭数 32頭

水道料金は

Q (小野) 値上げの情報はないか。
A 玉野市に伺ったところ、協議会を立ちあげると聞いている。その中に直島も入っていると思うので、情報が入り次第報告したい。



利用期限は9月30日

固定資産評価審査委員会委員の選任について



大林 清氏

固定資産評価審査委員会委員に大林清氏を選任することに同意しました。任期は令和7年7月1日から令和10年6月30日まで

歳入

● 国庫補助金

1500万円追加

● 繰越金

1638万円追加

● 町債

700万円追加

◎ 歳出

● 定額減税調整給付金不足額給付システム改修等

138万円追加

● 商業・観光交流複合施設等整備設計

3000万円追加

● Jアラート受信機等更新

700万円追加

新

令和7年度 補正予算

一般会計

宮浦港近くに店舗やオフィスなどを備えた商業・観光交流複合施設を整備予定。事業費約12億円



老朽している生協

【お詫びと訂正】

前号211号の5ページに掲載された「監査委員の再任に同意」の内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤)

令和7年3月31日から、

令和11年3月30日

(正)

令和7年5月31日から、

令和11年5月30日

四国汽船と意見交換（総務・文教常任委員会）

4月21日、両備グループに入った四国汽船からの報告会があった。四国汽船からは田邊専務、森常務、清板宮浦支店長、町から町長、副町長、担当課長が出席した。

はじめに、田

邊専務から「前

社から引き継ぎ

後、順調に仕事

は進んでいる

が、船員の欠員

状態が解消して

おらず、高速艇

の減便の解消に

はまだ時間がか

かる。また昨年

度も皆さんが想

像するよりも大

きな赤字が出る

予定だ」との報

告があった。次

に森常務から、

「船員の状況に

ついて、現状で

は船員が取るべ

き決まった休みが、取

りきれていない。全

ての休みを取りきるた

めには、最低でも43人

が必要だが、現在37人

が、皆でカバーしながら航

住民のことを第一に！

援のメンバーを募集して

いる」と報告があった。

井下委員から「岡山・小

豆島航路では、乗船券購

入にキャッシュレス化を

導入している。四国汽船

でもできるだけ早い時期

に導入をお願いしたい」と

要望。田邊専務から「ま

さにその通り。キャッ

シュレス化は必須だと思

っており、必ず実施す

る。幸い、両備グループ

には情報システム会社があり、今、打ち合わせをし、仕様を固めている」

と説明があった。

山上委員から「経営者

が替わり、値上げのタイ

ミングが重なった。町民

に納得できるように説明

し、うまくコミュニケーション

を取るようお願い

したい」と要望。田邊専

務から「コミュニケーション

はしっかりとつ

て、情報共有をしなが

らやっていかないと単独で

は難しいと思っています」と説明があった。

井下委員から「現在減

便している船便の解消を

考えていただきたい。特に学生たちが困っている」との質問に田邊専務

から「増便とか減便の解消とかは、今の状態では厳しい。値上げをして、採算が取れるようになれば、減便する必要もなくなる。問題は船員だ。値上げをして、採算が取れ、船員の補充もできて、現状が維持できれば、復便していくことは可能だ」との答えがあった。

最後に議長から「両備グループの社長から、社員へ『経営理念として（忠恕）』という言葉があります。真心からの思いやりという意味です。これから瀬戸内海の生活航路として、また瀬戸内海が世界の観光地となるよう、一緒に夢をつくっていきましょう」とのコメントがあった。将来的に四国汽船として頑張っていたいただきたいと思うし、住民のことを第一に考え、従業員についても改善に改善を重ねていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします」と結ばれた。

（中根 記）





西山将 先生 大川純平 先生

勤務は慣れましたか。また、町民の患者さんはどうですか。

A(大川) ようやく慣れてきたところです。小豆島勤務の時も感じたのですが、島民の地元愛は素敵だなと感じています。

(西山) これまでの職場と比べて、子どもを診る機会が多い点に戸惑いつつも楽しんでいます。

Q 直島で生活してみても感じは。

Q 島での生活で不便なところ、また思っていたよりも良かったところは。

A(大川) 観光シーズンは、高松からの船に30分以上並ばないと乗れないことがあるのは、少し不便と思いました。

(西山) 家族が高松に住んでいるので、高松からの通勤ができるようになれば最高ですね。

Q 島での友人はできましたか。

います。

(西山) 診療所スタッフはもちろん、店員さんと会話する機会が多いので、孤独感はありません。

Q 休日は何をされていますか。

A(大川) 高松へ行ったり、本村の方までバスで行ったり。何回か本村から宮ノ浦まで歩きました。

が気持ちいいですね。

(大川)

(西山) 仕事をしたり運動

していたり、家族が直島に来ていたら島内を散策したりしています。

Q 現在の直島をここをこうしたら良いと思うところがありましたら。

A(大川) 特には思い浮かばないです。

(西山) 先にも述べましたが、高松と直島間の特にフェリーの利便性が一番でしょうか。難しい問



題と思いますが。

Q 最後に町民の皆さんに報告やメッセージなどあればどうぞ。

A(大川) 人も設備も決して潤沢とは言えないかも知れませんが、かかりつけの診療所として少しでも皆さまの健康に携われたらと思います。よろしくお願いします。

(西山) 医師としても社会人としても未熟ではございますが、温かく見守ってください。

先生いろいろ答えてくださりありがとうございます。広報直島の「ふれあい健康コラム」毎号しっかり読ませていただいております。これからも町民の健康管理をお願いします。

(小野 記)

広報編集特別委員会

委員長 井下 良雄

副委員長 山上 英一

委員 山下 玲子

委員 小野 孝一

委員 西岡裕喜広

委員 中根 清孝

委員 浜口 敏夫

編集後記

ちよつと前まで正月気分だったのに、気がつけばはや7月。今年は例年と同時期の梅雨入りだが、沖縄が南九州より遅い梅雨入り。これも異常気象が関係か。

ところで、今年は瀬戸内国際芸術祭6回目の年。春会期は終わったが、8月に入れば夏会期。会場の島々も活気を帯びているようだ。

夏・秋会期に向けて、直島も他の会場に負けないうよう、町民の皆さまの力もお借りして、ふるさと「なおしま」を盛り上げていきたいと思います。